

令和7年度 恵庭市立恵北中学校 自己評価に対する学校運営協議会委員評価書

校長名	加藤 暢
作成日	令和8年1月16日

1 学校教育目標

(1) 真理を求める人	～ともに知性を磨こう～
(2) 心が豊かな人	～ともに心を耕そう～
(3) たくましく実践する人	～ともに助け合おう～
(4) 活かに満ちた人	～ともに健康な心身を育てよう～

2 学校経営の基本方針

I 協働体制が発揮される活力ある「チーム恵北中」の推進【学校づくり】
II 「充実した学習指導、積極的な研修」の推進【学力向上】
III 信頼関係のもと「心の居場所」となる学校づくりの推進【豊かな心の育成】
IV たくましく健やかな心身を育む教育の推進【健やかな体の育成】
V 保護者・地域の願いをつなぐキャリア教育の推進【ふるさとキャリア教育】

3 本年度の重点教育目標

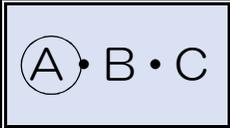
『夢や目標を持ち、自ら学び 伝え合い 高め合う 生徒の育成』	運営協議会委員の意見	
	目標設定の適切さ	本年度の重点目標についての意見等
	A・B・C	本校の生徒を考えると、少しレベルが高い目標に感じた。

4 学校評価の方法について

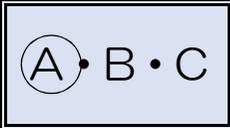
<p>(1) 「自己評価」 全教職員が参加して、年度当初に設定した目標や具体的計画等に照らして、その達成状況の把握や取り組みの適切さについて、「中間」及び「年度末」に評価を行う。</p> <p>(2) 「保護者アンケート」「生徒アンケート」 達成状況の把握や取り組みの適切さについて評価する資料とするために、保護者・生徒を対象にしたアンケートを実施する。学校への意見や要望も把握する。</p> <p>(3) 「学校運営協議会委員による評価」 学校運営協議会委員による評価委員会により、自己評価結果や保護者アンケート結果等を踏まえて評価を行う。</p>	運営協議会委員の意見	
	評価方法の適切さ	学校評価の方法についての意見等
	A・B・C	特になし

5 自己評価の結果と改善の方策

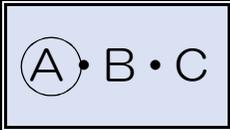
(1) 協働体制が発揮される活力ある「チーム恵北中」の推進【学校づくり】

NO	自己評価の結果				運営協議会委員の意見	
	評価項目		達成状況	取組の適切さ	自己評価結果の適切さ A・B・Cで右の枠に	
	大項目	小項目				
1	学校経営	教育目標の具現化を図り、マネジメントサイクルを活かした組織的な教育活動を推進する。	A	A		
2	教育課程	知・情・意・体の調和のとれた教育活動を推進する。	A	A		
3	今日的な教育課題（働き方改革）	心身ともに健康で、授業や業務に打ち込むことができるよう、教育課程等を見直し、業務内容の精選、意識改革等に努める。	B	A		
<p>学校教育目標の具現化に向けて、各種調査結果等を分析し、共通理解のもと、PDCAサイクルを回しながら教育活動を展開してきました。今後も調和のとれた教育活動を推進し、組織的な対応をしていきたいと思います。また、働き方改革の実現を目指しながら、教育課程の改善を図ってきましたが、今後も継続して取り組んでいきたいと思います。</p>						

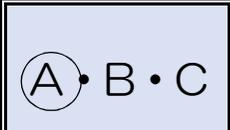
(2) 「充実した学習指導、積極的な研修」の推進【学力向上】

NO	自己評価の結果				運営協議会委員の意見		
	評価項目		達成状況	取組の適切さ	自己評価結果の適切さ A・B・Cで右の枠に		
	大項目	小項目					
4	研修活動	研究主題の解明に向けて研鑽を積み、実践を通して教師の授業力の向上につなげる。	A	A			<p>&lt;ご意見など&gt; 積極的な研修を今後も継続して実施し、授業力の向上を図っていただきたい。</p>
5	学習指導	自らの努力に自信を持たせ、将来を見据えて主体的に学習する態度を育成し、確かな学力の向上を図る。	B	A			
6	特別支援教育	障がいのある生徒に対して、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善するための適切に必要な支援を行う（合理的配慮）。	A	A			
7	今日的な教育課題（GIGAスクール構想）	個人用タブレット端末や他のICT機器は、課題探究的な学習を行う上で効果的な活用を推進する。	A	A			
<p>研究主題の実現に向け、ICTの活用を軸とした研修の実施や授業改善に継続的に取り組んできました。一人一台端末を活用した授業については、日常的な実践が進み、学習活動の幅が広がっています。一方で、学習習慣の定着には依然として課題が見られるため、学校と家庭の連携を図りつつ、主体的な学習の促進に取り組んでいきたいと思います。</p>							

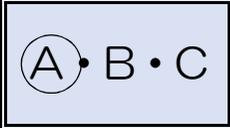
(3) 信頼関係のもと「心の居場所」となる学校づくりの推進【豊かな心の育成】

NO	自己評価の結果				運営協議会委員の意見	
	評価項目		達成状況	取組の適切さ	自己評価結果の適切さ A・B・Cで右の枠に	
	大項目	小項目				
8	道徳教育	「特別の教科道徳」の時間を要として、学校の教育活動全体を通じて行い「議論する道徳」を実践し、生徒がよりよく生きるための力を育成する。	A	A		
9	特別活動	学級・学年・生徒会活動の活性化を図り、集団を高め個性を伸ばす自主的な実践的態度を育成するとともに「松三会」の活動の一層の充実と発展に努める。	A	A		<ご意見など> いじめの認知を積極的に行い、いじめ見逃しを目指してほしい。
10	生徒指導	共感的な人間関係・自己存在感・自己決定を柱として、的確に判断し、主体的に行動する自己指導能力の育成を図る。	A	A		
道徳教育については、全体計画に沿って学年教員が協働して授業を実施し、物事を多面的・多角的に捉えながら考えを深める「議論する道徳」の実現に向けた取組を進めています。生徒指導においては、生徒一人一人が自己の存在を実感し、所属意識を高められるよう、主体的に判断・行動する場面を設定しています。いじめについては、未然防止を重視し、日常的な観察や教職員間の情報共有を徹底するとともに、いじめの兆候を早期に把握し、組織的かつ迅速に対応してきました。今後も、生徒会活動の一層の充実を図りながら、安心・安全な学校づくりを基盤として、豊かな心の育成に向けた教育活動を推進していきたいと考えています。						

(4) たくましく健やかな心身を育む教育の推進【健やかな体の育成】

NO	自己評価の結果				運営協議会委員の意見	
	評価項目		達成状況	取組の適切さ	自己評価結果の適切さ A・B・Cで右の枠に	
	大項目	小項目				
11	健康・安全教育	自他の生命を大切にし、心身を鍛え、健康で安全な生活を送る実践的な態度の育成を図ると共に、好ましい人間関係と粘り強く物事に取り組む意欲を育てる。	A	A		
保健体育を中心とした授業や食育指導、部活動等を通して、健やかな体の育成に向けて取り組んできました。また、学級活動や学校行事、生徒会活動等を通して、他者と協働する経験を積ませ、好ましい人間関係の形成を支援してきました。学校安全に関しては、危機管理マニュアル等の定期的な改善・充実に努めています。						
<ご意見など> 特になし						

(5) 保護者・地域の願いをつなぐキャリア教育の推進【ふるさとキャリア教育】

NO	自己評価の結果			運営協議会委員の意見	
	評価項目		達成状況	取組の適切さ	自己評価結果の適切さ A・B・Cで右の枠に
	大項目	小項目			
12	キャリア教育	自己理解を深め、将来の生き方や進路を考えるガイダンスの機能や体験を重視した指導方法の工夫を図る。	A	A	
13	ふるさと教育	地域との連携を図った「ふるさと教育」を推進する。	B	A	
<p>予測が困難と言われる今後の社会を生き抜く力を育むため、生徒一人一人が自らの生き方を考え、目標に向かって行動し続ける力を養うキャリア教育を推進してきました。将来の夢や目標の実現に向けて、主体的に粘り強く取り組むことができるよう、系統性のある取組を引き続き進めていきます。併せて、コミュニティ・スクールを基盤として、実社会と結び付いた学びを展開することで、生徒の学ぶ意欲を高めていきたいと考えています。</p>					<p>&lt;ご意見など&gt; ふるさと教育に関わって、もし時間的に可能なら、ふるさとを取材して新聞作りを行うなどの取組を検討してみてはどうだろうか。</p>

6 今後の方向性についての校長所見

『夢や目標を持ち、自ら学び 伝え合い 高め合う 生徒の育成』、めざす生徒像「明るく 厳しく 温かい心をもつ生徒」を実現するため保護者や地域の皆さまのお力を借りながら教育活動を推進してきました。予測が困難な社会を生き抜く力を育成するためには、従来の取組を継続するだけでなく、教育活動の質を不断に問い直し、改善を図る姿勢が不可欠だと思います。今後は、ミドルリーダーを核とした組織的な学校運営のもと、評価結果を次年度の教育計画に確実に反映させ、授業改善や指導方法の工夫につなげていきたいと思っています。また、生徒一人一人が自らの可能性を信じ、主体的に学び続ける力を身に付けられるよう、学校・家庭・地域が連携した教育活動を一層推進するとともに、全教職員が同じ方向を向いて、学校教育の充実に取り組んで参ります。